



2026 年 9 月 29 日

日本鉄道労働組合連合会

鉄道運輸機構労働組合「第 63 回定期大会」

J R 連 合 加 盟 後 初 の 定 期 大 会 開 催 ! 持 続 可 能 な 組 織 運 営 に 向 け た 運 動 方 針 を 確 立 !

鉄道運輸機構労働組合（鉄構労）は 9 月 4 日、横浜市において、第 63 回定期大会を開催し、向こう 1 年間の運動方針を確立した。2025 年 10 月の J R 連 合 加 盟 以 降 初 の 開 催 と な っ た 本 大 会 に は、来賓として交運労協蒔田純司事務局長、J R 連 合 より上村良成会長、今井孝治事務局長、石川敏也産業政策局長が参画した。



大野中央執行委員長

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った大野友和中央執行委員長（J R 連 合 特 別 執 行 委 員）は、この 1 年間を振り返り、「新幹線を取り巻く状況が停滞していた中、職場と雇用を守るべく J R 連 合 へ の 加 盟 を 決 断。以 降、共に活動する中でその政治力の高さを実感した」と述べた。続けて、全職員に波及した賃上げ獲得の成果を強調し、引き続き地域格差の解消や出向者の待遇改善等に取り組むとしたほか、今後の役員体制のあり方について所信を述べ、代議員に真摯で闊達な討議を呼び掛けた。



J R 連 合
上 村 会 長

交 運 労 協
蒔 田 事 務 局 長

J R 連 合 を 代 表 し 上 村 会 長 が「産別移籍の決断に改めて敬意を表する」と述べた後、J R 連 合 の 紹 介 や 安 全 確 立、新 幹 線 ネットワークの構築・計画推進に向けた取り組み、連合・交運労協との連携の重要性について言及し、より一層の連帯を要請した。

議事では、組織強化や労働諸条件の維持・改善、労働条件のさらなる改善、健康で活力ある職場の構築、将来展望の確立といった運動方針が提起され、25 名の代議員から、諸労働条件改善の取り組み、要員需給、福利厚生、産別加盟の意義に関する発言などの意見・要望が出された。松本敬太郎書記長を中心とした執行部答弁の後、全ての議案が採択された。

役員改選では、鉄構労運動を牽引した倉持周平中央執行副委員長や松本書記長、稲益啓志郎書記次長らが退任し、再任された大野中央執行委員長のもと、新たに小西善晃中央執行副委員長、櫻井高志書記長、曾根晃書記次長らを加えた新体制を確立。大野中央執行委員長の団結がんばろうで大会を締め括った。

【新執行部【四役】】

中央執行委員長	大野 友和	【再任】
中央執行副委員長	小西 善晃	【新任】
書 記 長	櫻井 高志	【新任】
書 記 次 長	曾根 晃	【新任】

